※令和４年度以降入学生用

学校番号	219

令和５年度　国語科

教科	国語	科目	国語表現	単位数	２単位	年次	２年次
使用教科書	「国語表現」　（大修館書店）						
副教材等	読解現代文必携　キーワードの卵　（尚文出版）						

1　担当者からのメッセージ（学習方法等）

この科目では、「音声言語による表現」及び「文章をはじめ書くことによる表現」のしかたを学習します。そのためには、必要な情報を収集したり整理したり、また人の意見やアナウンスされたものを聴いた上で、自ら積極的に考えることが必要です。様々な言語活動を通して、学んだことや自分の考えを書いたり発表したり、人の意見を聞いたり読んだりすることで、積極的に表現力を身につけて下さい。

2　学習の到達目標

国語で適切かつ効果的に表現する能力を育成し、伝え合う力を高めるとともに、思考力や想像力を伸ばし、言語感覚を磨き、国語力の向上や社会生活の充実を図る態度を育てる。

3　評価の観点及びその趣旨

観点	a　知識・技能	b　思考・判断・表現	c　主体的に学習に取り組む態度
観点の趣旨	自分の思いや考えを多彩に表現するために必要な語句の量を増し、適切な言葉遣いや表記に関する知識を広げ、語感を磨き、語彙を豊かにしている。	自分の思いや考えを明確にし、事象を的確に描写したり説明したりするための言葉と表記を正確に判断して、表現のしかたを工夫している。 自分の主張の合理性が 伝わるよう，適切な根拠 を効果的に用いるとともに，相手の反論を想定して論理の展開を考えるなど，話の構成や展開を工夫すること。	自分の思いや考えを多彩に表現するために必要な語句の量を増し，話や文章の中で使うことを通して，語感を磨き語彙を豊かにすること。

上に示す観点に基づいて、学習のまとまりごとに評価し、学年末に５段階の評定にまとめます。
学習内容に応じて、それぞれの観点を適切に配分し、評価します。

※令和４年度以降入学生用

学期	単元の学習内容	単元の評価規準	評価方法		
			知(a)	思(b)	主(c)
一学期	表現力を培う ［教材］言葉と出会う	a：書き言葉の特徴について理解を深め、係り受けを整えたり文末表現を統一したりすることについて理解している。 b：「書」自分の思いや考えを明確にし、事象を的確に描写したり説明したりするために、係り受けや文末表現の統一を正確に理解して、表現のしかたを工夫している。 c：練習問題を解くことをとおして、文を整えて書く学習に対して積極的に取り組もうとしている。	記述の点検	記述の点検	記述の点検 行動の観察
	表現力を培う ［教材］伝える、伝え合う	a：話し言葉の特徴や役割、表現の特色について理解を深め、伝え合う目的や場面、相手、手段に応じた適切な表現や言葉遣いを理解し、自己紹介している。 b：「話・聞」目的や場に応じて、自分に関わる事柄の中から話題を決め、他者との多様な交流を想定しながら情報を収集、整理して、伝え合う内容を検討している。 c：自己紹介を目的としたゲームをとおして言葉で伝え合うことを楽しみ、基礎的な対話活動に前向きに取り組もうとしている。	記述の点検	記述の点検 発表の観察	記述の点検 行動の観察
二学期	表現力を培う ［教材］小論文・レポート入門	a：小論文の特徴、構成や展開のしかたなどについて理解を深めている。 b：「書」読み手の同意が得られるよう、適切な根拠を効果的に用いて論理の展開を考えるなど、文章の構成や展開を工夫している。 c：小論文と感想文の違いをふまえ、小論文を書くことに関心をもち、意欲的に取り組もうとしている。	記述の点検	記述の点検	記述の点検 行動の観察
	表現力を培う ［教材］自己 PR と面接	a：言葉には、自己と他者の相互理解を深める働きがあることを理解している。 b：「話・聞」目的や場に応じて、自分に関わる事柄の中から話題を決め、他者と話し合いながら情報を収集、整理して、伝え合う内容を検討している。 c：自分のこれまでの人生を振り返ってまとめる活動に興味をもち、意欲的に取り組もうとしている。	記述の点検	記述の点検 発表の観察	記述の点検 行動の観察

※令和４年度以降入学生用

三学期	表現力を培う ［教材］メディアを駆使する	a：書き言葉の特徴や役割、表現の特色、通信文ごとの形式の違いについて理解を深め、伝え合う目的や場面、相手、手段に応じた適切な表現や言葉遣いを理解し、使い分けている。 b：「書」自分の思いや考えを明確にし、事象を的確に描写したり説明したりするなど、表現のしかたを工夫している。 c：さまざまな通信文の使い分けや、手紙の書き方に興味をもち、意欲的に学習に取り組もうとしている。	記述の点検	記述の点検	記述の点検 行動の観察
	表現力を培う ［教材］会話・議論・発表	a：話し言葉の特徴や役割、表現の特色について理解を深め、伝え合う目的や場面、相手、手段に応じた適切な表現や言葉遣いを理解し、使い分けている。 b：「話・聞」相手の反応や場の状況に応じて言葉を選び、相手の同意や共感が得られるように表現を工夫している。 c：相手や場面に応じた会話をすることに興味をもち、意欲的に活動に取り組もうとしている。	記述の点検	記述の点検	記述の点検 行動の観察

４　学習の活動

※表中の観点について　a:知識・技能　b:思考・判断・表現　c:主体的に学習に取り組む態度

※単元の評価規準[ｂ]について…括弧内には[　話／聞、書、読　]のどれか一つを記入して下さい。

※年間の各領域時間数

・話すこと／聞くこと　…　（　25～35　）時間

・書くこと　…　（　55～65　）時間

・読むこと　…　（　　）時間